

- 11月5日(日)、稲羽コミュニティセンターにて「オータムフェスタ」を開催いたしました。日頃の社会福祉協議会並びにご協力いただいております各団体の方々の活動を皆様知って頂く交流イベントとして行いました。
- イベントの内容は、
- 地域包括支援センター「つつじ苑」様臨時窓口
- 手話講習 (はにわ会)
- 防災活動の発表とパネル展示 (大野町)
- 地区社協活動展示
- 車いす体験乗車
- 輪投げ・ビンゴゲーム



準備不足もあり参加者数は伸びませんでした。多くの方々の協力をいただき無事に行えました。この紙面上を借りて改めて御礼申し上げます。

「オータムフェスタ」開催

主催 稲羽西地区社会福祉協議会

第 38 号
編集 発行
稲羽西地区
社会福祉協議会

社協会費が
使われています



大野町の防災活動のパネル展示と、プロジェクトやビデオを使った発表がありました。

1年目のひやりマップの作成、2年目の防災についての勉強会や防災アイデアコンテストについて説明がありました。また、イベントのビデオ (TVで放映されたニュース) が流れました。2年間の防災活動の取り組みに、参加者の方々も感心されていました。

防災活動



認知症サポーター養成講座



主催 稲羽西地区社会福祉協議会

9月30日(土)に稲羽コミュニティセンターにて、近隣ケアグループ及び自治会長出席の下、地域包括支援センターつつじ苑の方の協力により「認知症サポーター養成講座」を開催いたしました。認知症は80歳以上の5人に1人になると云われており、決して他人事ではありません。この講座は認知症をよく理解し、認知症の予防や認知症の方との接し方を学び、認知症の方やその家族を見守る認知症サポーターを養成し、安心して暮らせる町づくりを目標としています。

なかなか他人には相談しづらい事柄ではありますので、何かお困りな事がありましたら地域包括支援センターつつじ苑・各務原市役所高齢福祉課までご相談ください。



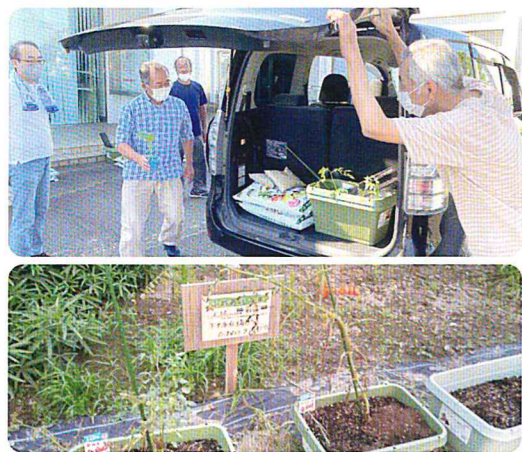
加齢による物忘れと認知症の記憶障害の違い

- 加齢によるもの忘れ
- 経験したことが部分的に思い出せない
 - 目の前の人の名前を思い出せない
 - 物の置き場所が思い出せない
 - 何を食べたか思い出せない
 - 約束をすっかり忘れてしまった
 - 物覚えが悪くなったように感じる
- 認知症の記憶障害
- 経験したことが全体を忘れていない
 - 目の前の人が誰なのかかわからない
 - 置き忘れや紛失が頻繁にあることがある
 - 食べたこと自体を忘れている
 - 約束したこと自体を忘れていない
 - 数分前の記憶が残らない
 - 曜日や日付を間違えることがある
 - 月や季節を間違えることがある

認知症の人への対応ガイドライン

- 基本姿勢
- 認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”
- ① 驚かせない
 - ② 急がせない
 - ③ 自尊心を傷つけない
- 具体的な対応の7つのポイント
- ① まずは見守る
 - ② 優しい口調で
 - ③ 余裕をもって対応する
 - ④ 穏やかにはつきりとした話し方で
 - ⑤ 声をかけるときは一人で
 - ⑥ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する
 - ⑦ 後ろから声をかけない





6月17日、昨年の小松菜に続き、今年ミニトマトの栽培で、近隣の方々のコミュニケーションに活用して頂こうと近隣ケアグループの方に栽培セット(苗・プランタ・土・支柱・肥料)を配布致しました。

後日のアンケートでは、ほとんどの家庭が野菜等を作っておられ野菜より朝顔やひまわりな

どのお花のほうが見栄えもあり良いのではとか、公民館などでゴーヤの緑のカーテンを作ってはなどの意見も頂きました。しかし、なかなか栽培だけでは交流の場には至らず他の施策の検討も必要とのご意見も頂きました。



令和5年度 近所畑事業 ふれあい菜園

主催 稲羽西地区社会福祉協議会

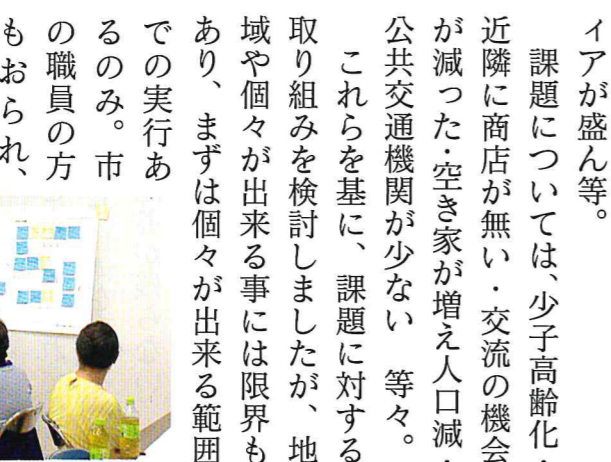
令和5年度 地域コミュニティ会議
7月7日 (金)に稲羽コミュニティセンターにて、民生委員及びボランティア・近隣の出席の方々の出席の下、地域



令和5年度 地域コミュニティ会議

主催 稲羽西地区社会福祉協議会

健康作りの場がある・ボランティアが盛ん等。課題については、少子高齢化・近隣に商店が無い・交流の機会が減った・空き家が増え人口減・公共交通機関が少ない 等々。これらを基に、課題に対する取り組みを検討しましたが、地域や個々が出る事には限界もあり、まずは個々が出る範囲での実行あるのみ。市の職員の方もおられ、この課題を持ち帰って頂き、今後の市の発展のヒントにして頂きたいと思っております。



手話講座

市内の「はにわ会」の方3名により、手話の講習がありました。基本的な手話・あいさつ・動物クイズ・歌など、子どもたちも楽しんで参加していました。

◎あいさつの例「ありがとうございます」
左手の甲から右手を縦に垂直に上げる。

◎動物の例「猫」
招き猫のポーズのように握りこぶしを作って頬の高さに持つていき、猫が顔を洗うように握りこぶしを2回ほど頬を撫でる。



車椅子体験・ビンゴ・輪投げ

車椅子2台を用意して、自由に体験していただきました。初めての方がほとんどで、進み方や曲がり方など教えてもらいました。「曲がるのが難しかった」といった感想がありました。

ビンゴでは、スクリーンを使って数字を発表しました。小さなお子さんが一番にビンゴになり、たくさん景品から好きなものを選んでいました。

